

フタバ産業新5ヵ年計画

(2016年度～2020年度)

～新たな成長ステージへ～



フタバ産業株式会社

2016年5月24日



目次

I これまでの振り返り

I-1 グローバル展開による世界4極生産体制の構築

I-2 2011年に設定した経営目標と外部環境の変化

II 将来環境予測とフタバの対応

II-1 将来の外部環境変化

II-2 フタバのロードマップ

II-3 商品課題

III 新5ヵ年計画

III-1 新5ヵ年計画の基本コンセプト

III-2 主力商品の特性および方針

III-3 地域方針(生産拠点の最適化)

III-4 マネジメント方針(ものづくりプロセス改革)

III-5 新技術・新事業への取組み

III-6 方針のまとめ

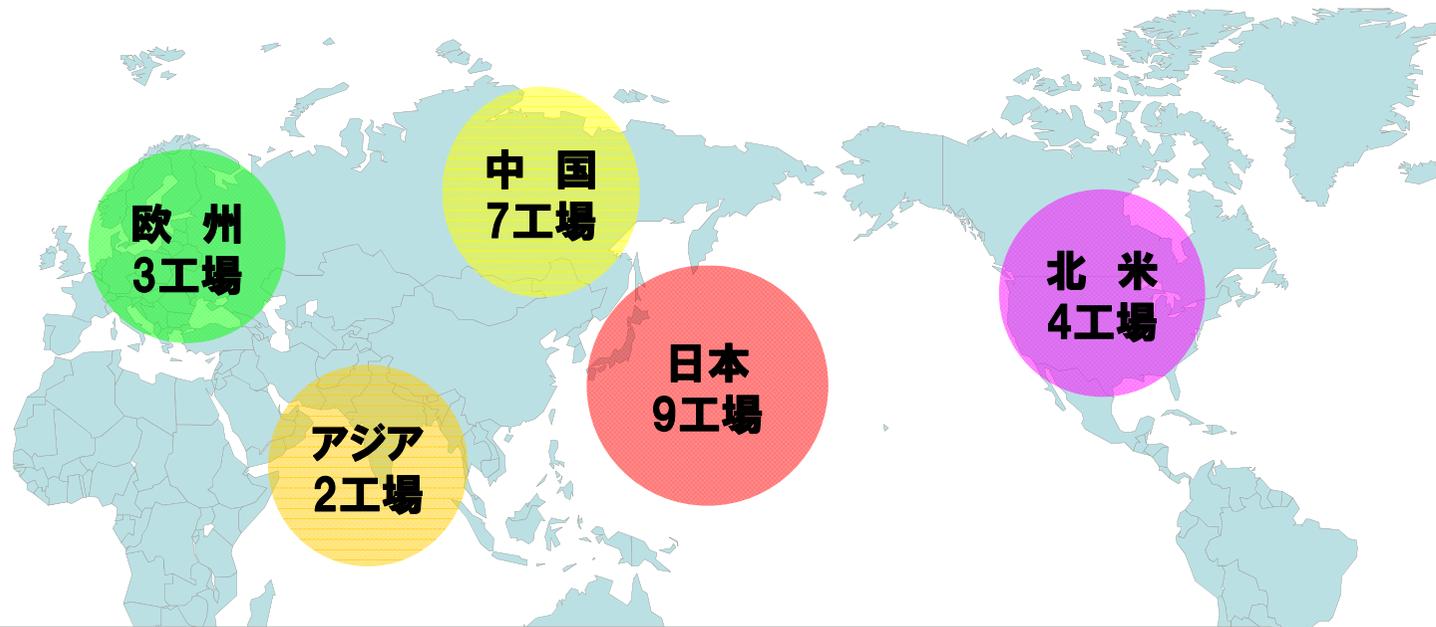
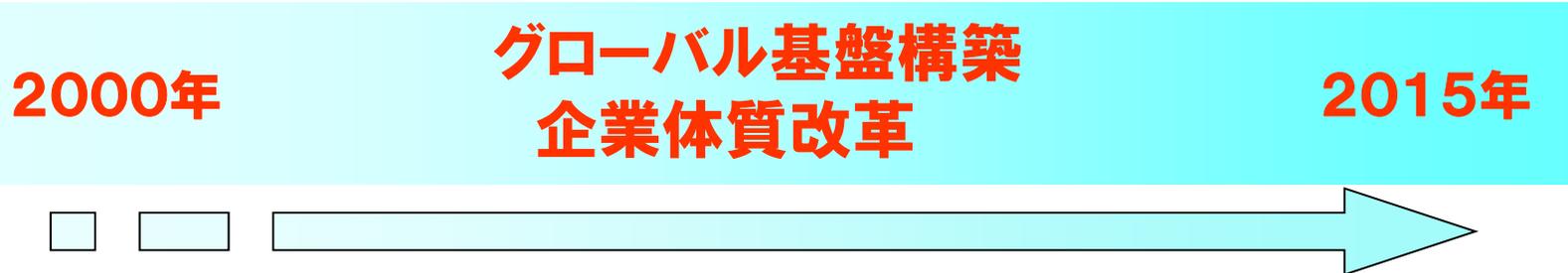
III-7 目指す姿(2020年)



これまでの振り返り

I-1 グローバル展開による世界4極生産体制の構築

①お客様ニーズに対応した生産拠点の展開



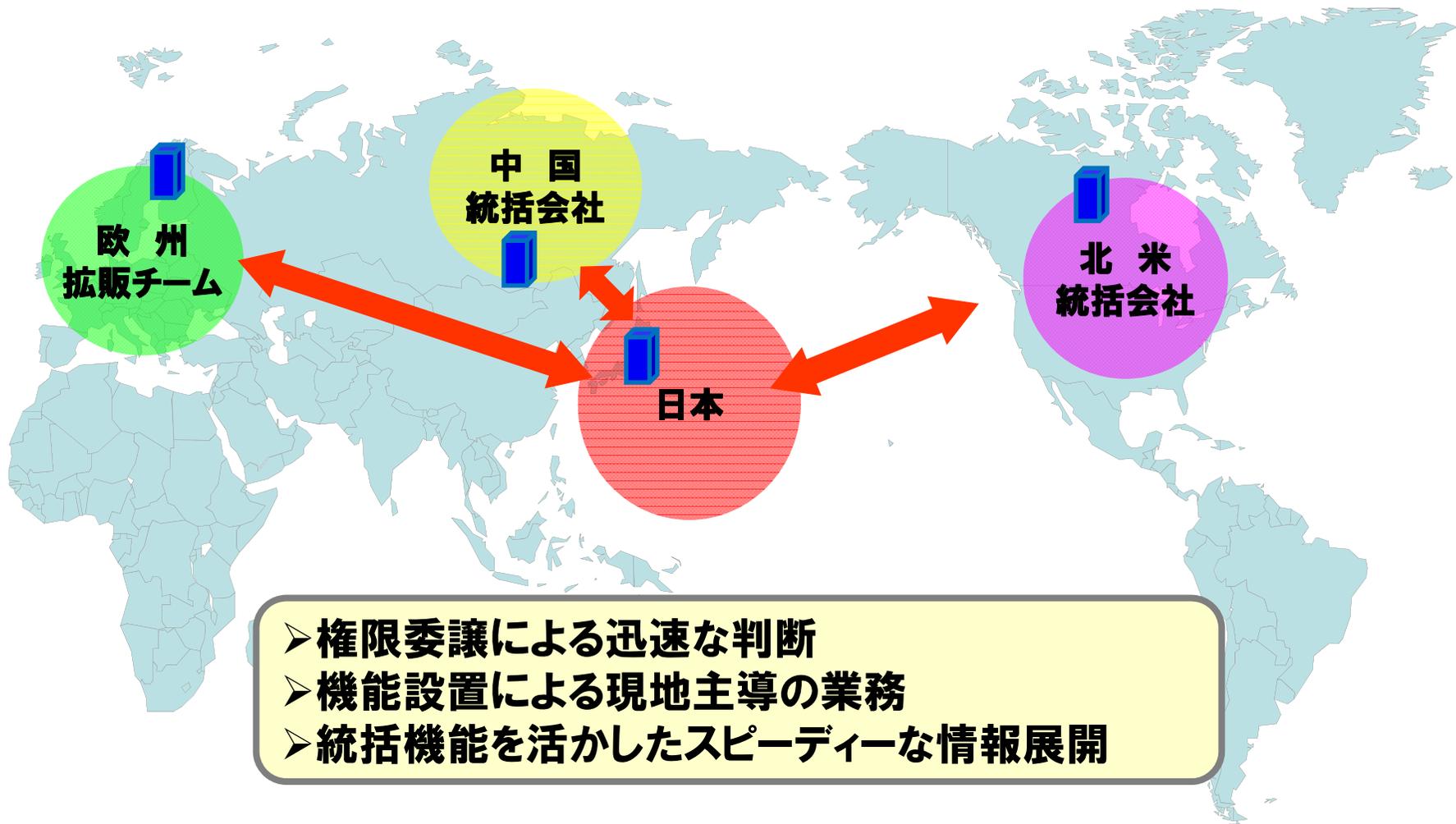
➤グローバルで、お客様のすぐそばで供給できる体制を構築



これまでの振り返り

②地域毎のマネジメント強化

- ・統括会社設立(北米地区、中国地区)
- ・拡販チーム設置(欧州地区)



- 権限委譲による迅速な判断
- 機能設置による現地主導の業務
- 統括機能を活かしたスピーディーな情報展開



③企業体質改革

風土改革

基盤整備

- ・内部統制整備
- ・基幹システム再構築
- ・組織再編

人材育成

- ・計画的ローテーション
- ・階層別人材育成

生産体制整備

- ・TPS
- ・設備のシンプル・スリム化



これまでの振り返り

I-2 2011年に設定した経営目標と外部環境の変化

①経営目標の設定(2011年6月)

VISION2020策定

目指す姿

「挑戦する人の集団」
「モノづくりで社会に貢献」
「新たな価値を世界へ提供」

- ・連結売上高:6000億円
- ・営業利益率:7%

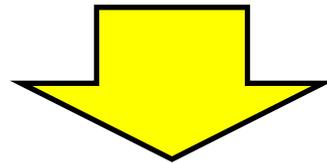




Ⅰ これまでの振り返り

②2011年以降の世の中の出来事

- 2011年度：東日本大震災、タイ洪水
- 2012年度：中国反日デモ、円高
- 2013年度：中国、アセアン経済伸び悩み
- 2014年度：アメリカ経済回復
- 2015年度：天津爆発事故



**VISION2020策定以降世の中では毎年
大きな出来事が発生**



③フタバを取り巻く環境の変化

◆マイナス面

- 近い将来の急成長市場として期待し、新たに拠点を構えたインドネシア・タイの市場低迷
- 中国市場の伸び悩み
- 欧州における日系カーメーカーの販売伸び悩み
- 新規事業拡販の遅れ
- 過去に投資した生産性の悪い既存ラインの置換えによる投資負担
- リーマンショック後の北米地域のオペレーション体制整備の遅れ

◆プラス面

- 中国での排気管受注
- 中国・欧州を中心に新規顧客からの受注



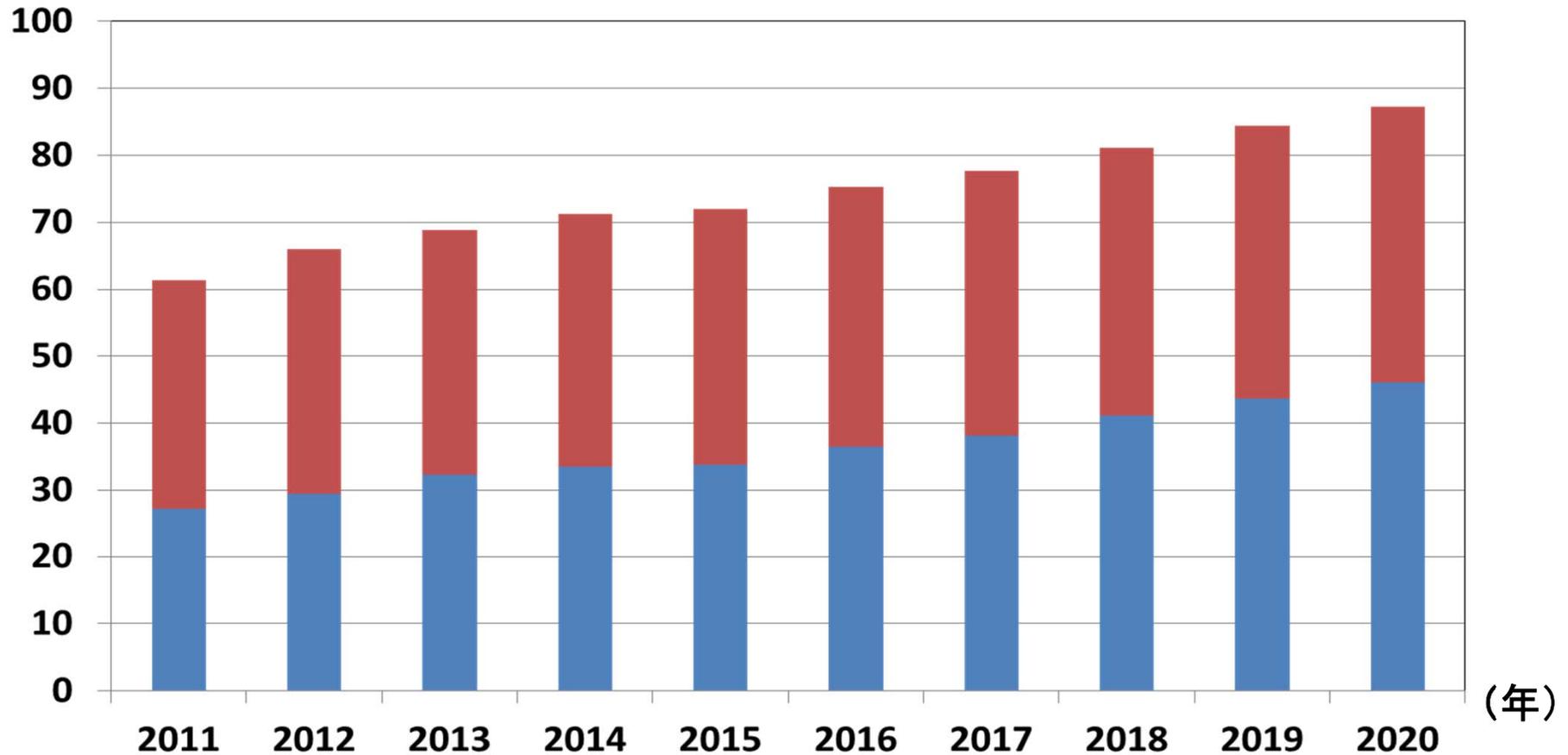
II 将来環境予測とフタバの対応

II-1 将来の外部環境変化

①世界自動車販売予測

(百万台)

■ : 先進国(日本・北米・欧州)
■ : 新興国(中国・インド・アセアン)



新興国での販売増加



II 将来環境予測とフタバの対応

②規制動向

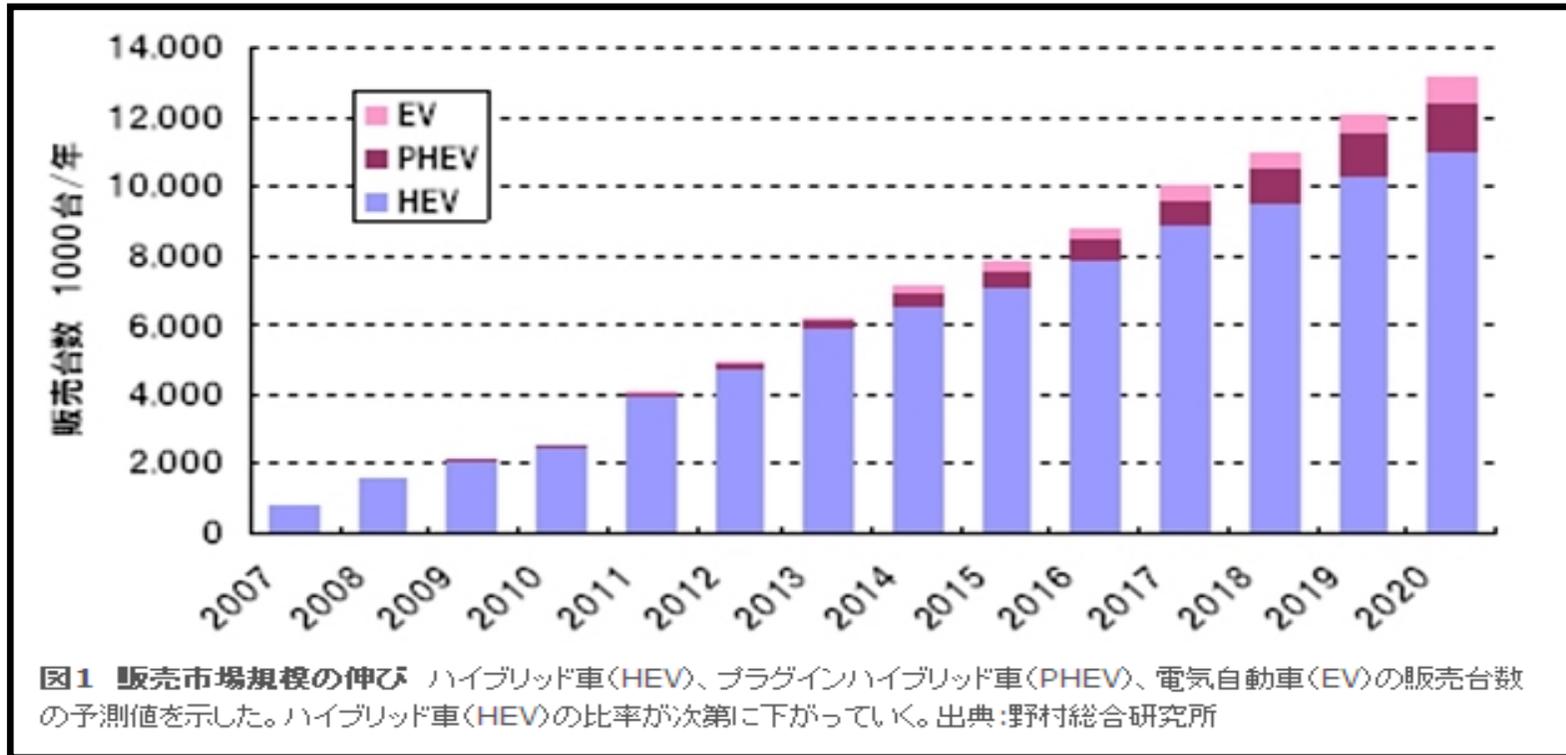
	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22以降
自動車市場 環境変化	COP21	半自動運転			第2世代FCV	自動運転		
	『トヨタ環境チャレンジ2050』				世界販売1億台	東京五輪		
環境 燃費	欧州:CO2-130g/km					95g/km		70g/km
	北米:35.5mpg		36.6mpg 3.5%/年 向上			44.7mpg		5%/年 向上
排ガス	北米:LEVII(P-ZEV)			北米:LEVIII ZEV強化(11州)				
	欧州:EURO6(WLTP,RDE)対応					欧州:EURO7		
騒音	中国:国5			中国:京6・国6(北米LEVIII+ORVR相当)				
						新車外騒音規制(stage1:72dB,stage2:70dB)		
安全 衝突						IIHS 微小ラップ衝突(25%ラップ)		
						IIHS 高速SUV衝突(60km/h)		
						NHTSA Oblique衝突(斜め15度)		
						NHTSA 微小ラップ衝突(斜め7度)		
						US新FMVSS301後突規制		

燃費、排ガス浄化、消音性能のニーズは今後も高まる



II 将来環境予測とフタバの対応

③HEV、PHEV、EV車の動向



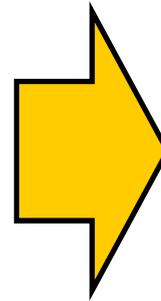
HEV、PHEVの生産台数は今後も増加傾向



II 将来環境予測とフタバの対応

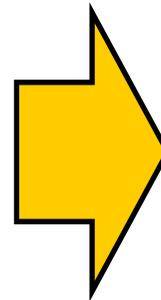
④世界動向

- 燃費規制強化
 - 排ガス規制強化
 - 安全性強化
- HEV、PHEVの増加



世界共通トレンドとして
グローバルでの対応が必要

市場	生産台数
国内	↘
北米	↗
中国	↗
欧州	→
アジア	→



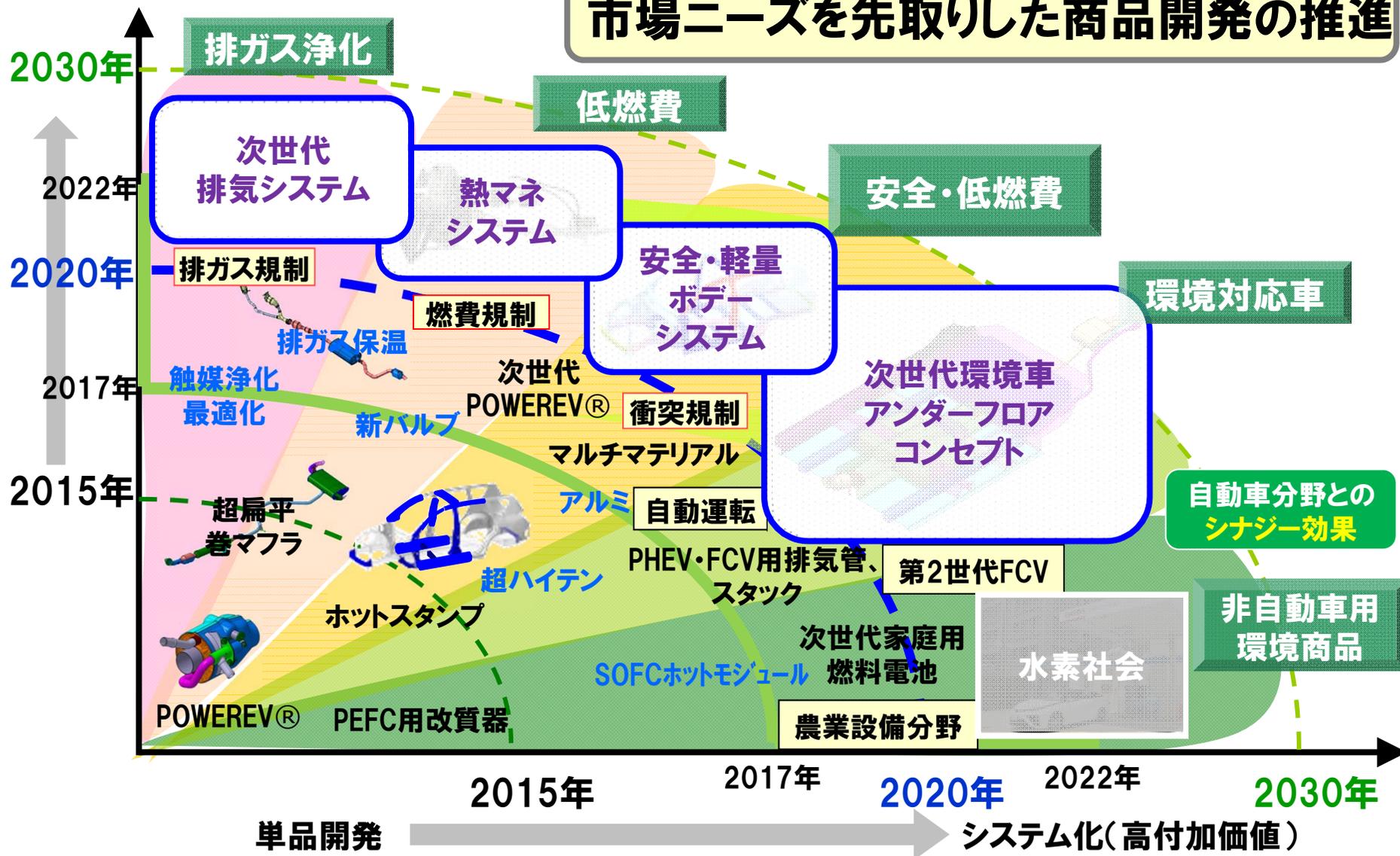
地域毎の対応が必要



II 将来環境予測とフタバの対応

II-2 フタバのロードマップ

市場ニーズを先取りした商品開発の推進





II 将来環境予測とフタバの対応

II-3 商品課題

商品別売上率(グローバル)

非自動車部品



① 共通課題

- 付加価値の向上
- 仕事の進め方の見直し

② 商品別課題

排気系部品(承認図)

- システム開発を中心とした付加価値向上

ボデー系部品(客先図)

- ものづくりを前提とした付加価値向上

非自動車部品

- コア技術を活用した高付加価値商品開発

これまでの振り返り、環境変化、今後の動向を踏まえ、
新たな中期の経営方針を設定する



Ⅲ. 新5ヵ年計画

Ⅲ-1 新5ヵ年計画の基本コンセプト

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

「よい品、より安く」を基本とした
新たな成長ステージ

基本姿勢

将来にわたり、成長性が期待できる分野へのリソースの重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通じて、会社としての継続的成長を目指す

基本方針

- 「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- 拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- 人材育成と組織力の強化

目指す姿

「挑戦する人の
の集団」

「モノづくりで
社会に貢献」

「新しい価値を
世界へ提供」



III-2 主力商品の特性および方針

①排気系部品(承認図)

- システム開発力
- お客様に貢献できる提案力
- グローバル展開力

エキマニ



パワレヴ



排気管

②ボデー系部品(客先図)

- 生産技術開発力
- SE力
- グローバル生産準備力

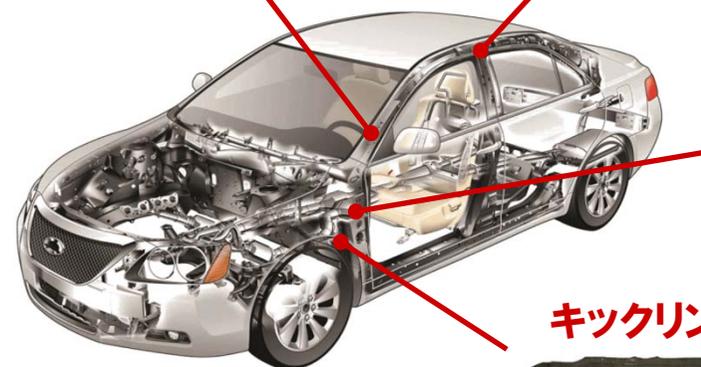
フロントピラーアツパ
リフォース



ルーフレールリフォース



フロントピラーロア



キックリフォース





III. 新5ヵ年計画

① 排気系部品

方針

- 国内トップランナーとしての地位の確立
- 世界で戦える高付加価値な商品の具現化
- 環境対応としてグローバルに展開できる商品の具現化

実施事項

商品	<ul style="list-style-type: none"> ● コア技術の更なる深掘りによる付加価値の向上 ● 次世代環境車に対応した排気系部品の開発
顧客	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外新規顧客の開拓
地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 北米、中国での受注拡大
ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● モジュラーデザインの確立 ● 革新ラインのさらなる進化 ● フタバNGA活動による開発、生準、生産のグローバル展開
調達	<ul style="list-style-type: none"> ● 付加価値の高い部品の内製化



III. 新5ヵ年計画

② ボデー系部品

方針

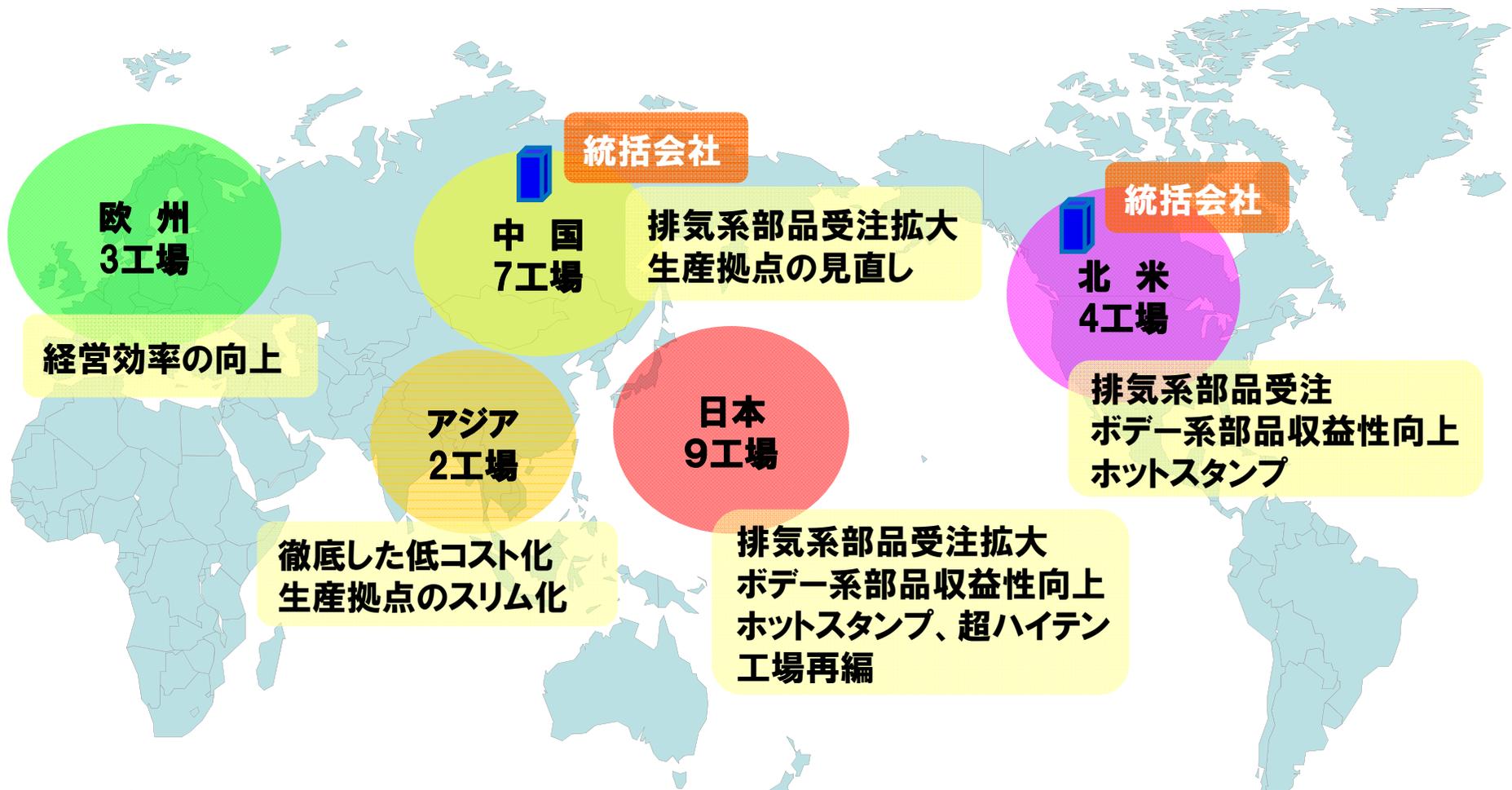
- 生産拠点の最大限の有効活用
- ホットスタンプ導入による継続的な収益の確保

実施事項

商品	● ホットスタンプ、超ハイテンプレス加工技術による高付加価値化
顧客	● 確実な継続受注による売上確保
地域	● ホットスタンプ、超ハイテンプレス加工技術のグローバル展開
ものづくり	● プレス技術力向上 ● SEの強力な推進 ● メンテナンス体制整備 ● ボデー系部品に特化した組織の整備
調達	● 金型、生産設備の最適調達

III. 新5ヵ年計画

III-3 地域方針(生産拠点の最適化)



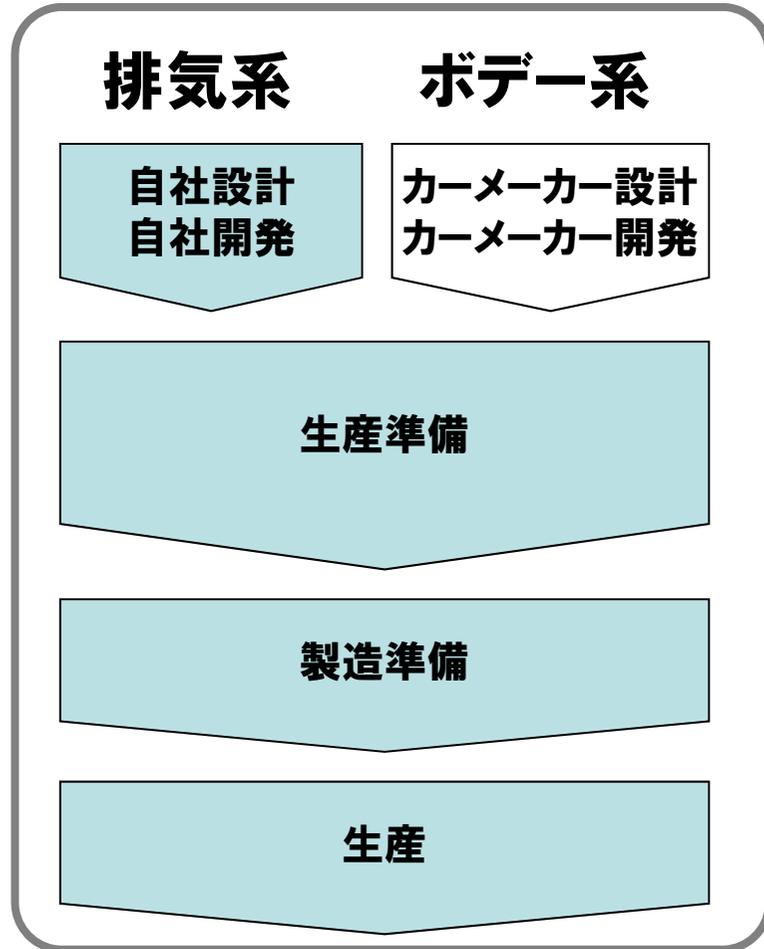
- 地域毎の顧客ニーズに合わせた商品の拡大と拠点の最適化
- 統括会社による子会社のマネジメント強化



III. 新5ヵ年計画

III-4 マネジメント方針(ものづくりプロセス改革)

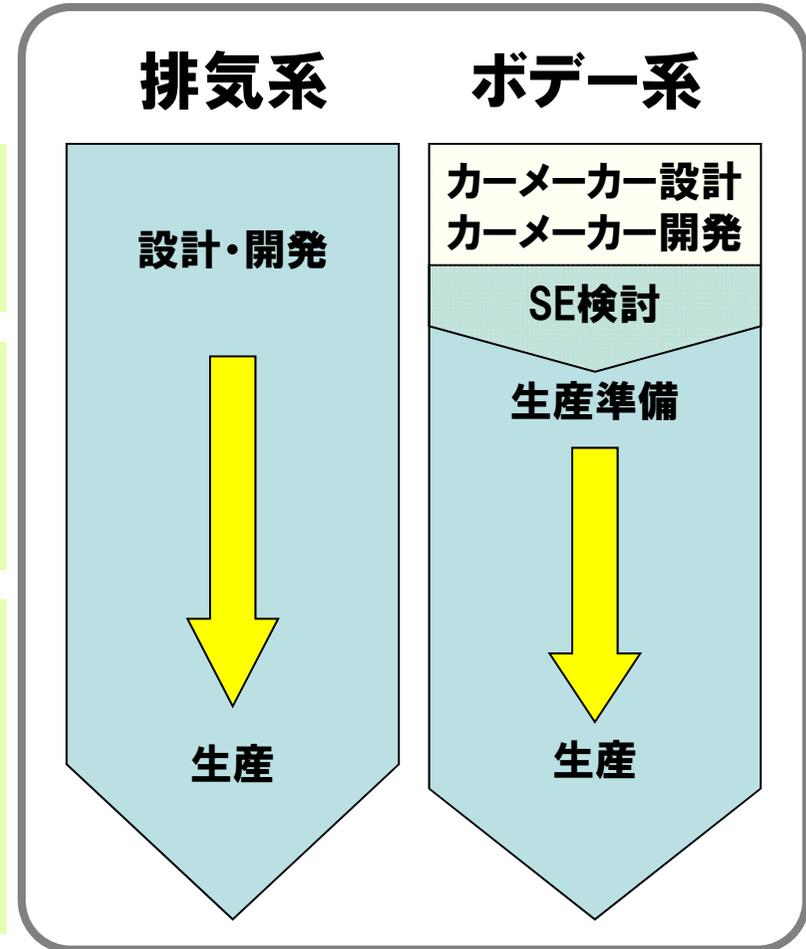
従来



- 開発のスピード感欠如
- 工場・生技の重複業務発生



今後(疑似事業部制)



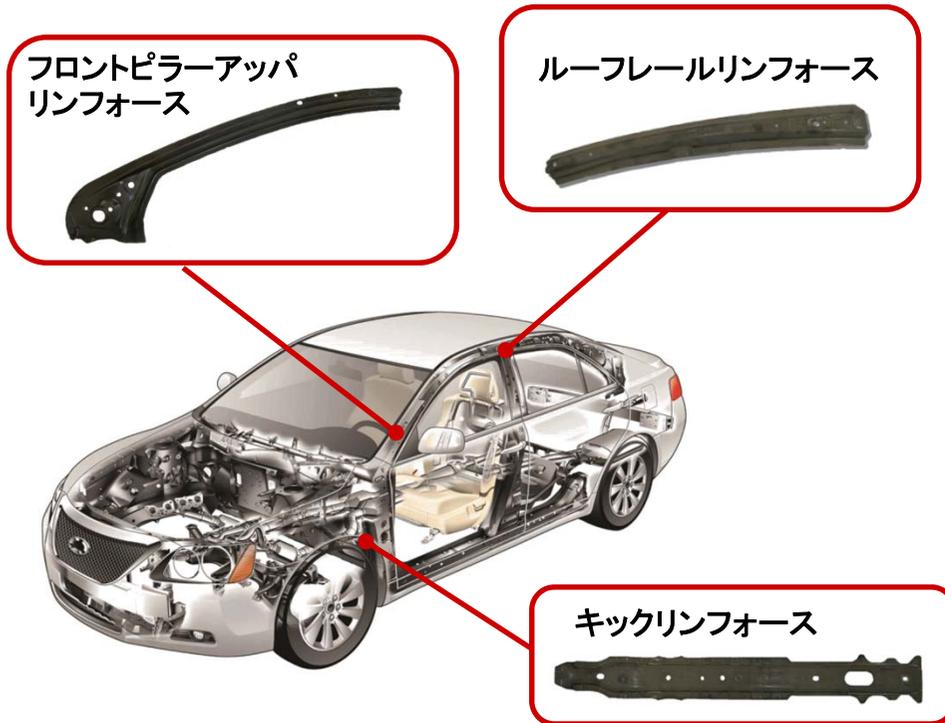
- 開発～生産までの一気通貫による効率化を実現

III. 新5ヵ年計画

III-5 新技術・新事業への取組み

① 安全性、軽量化への対応

お客様ニーズに対応した
ホットスタンプのグローバル展開

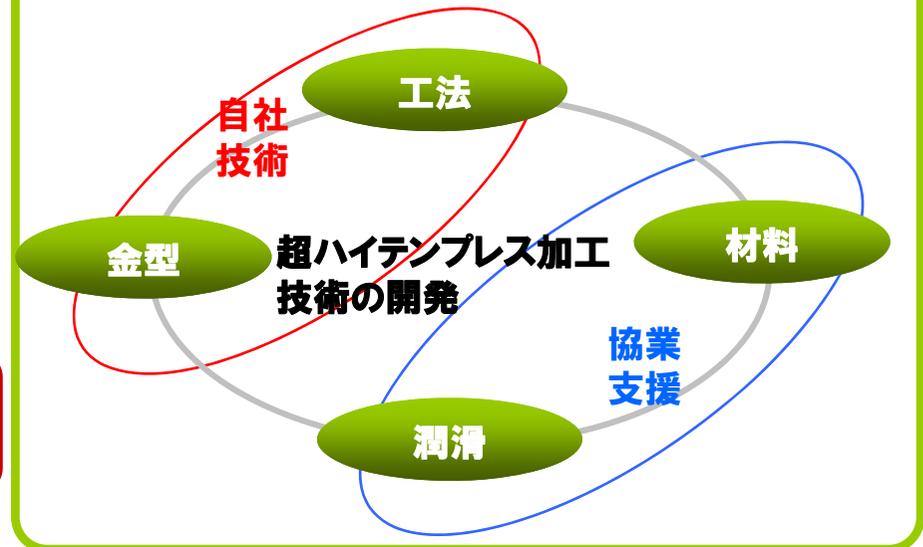


ホットスタンプ対応部位

超ハイテンプレス加工技術の
手の内化

社内・社外と協業で超ハイテンプレス加工
技術を確立する

超ハイテンプレス加工技術確立のアプローチ



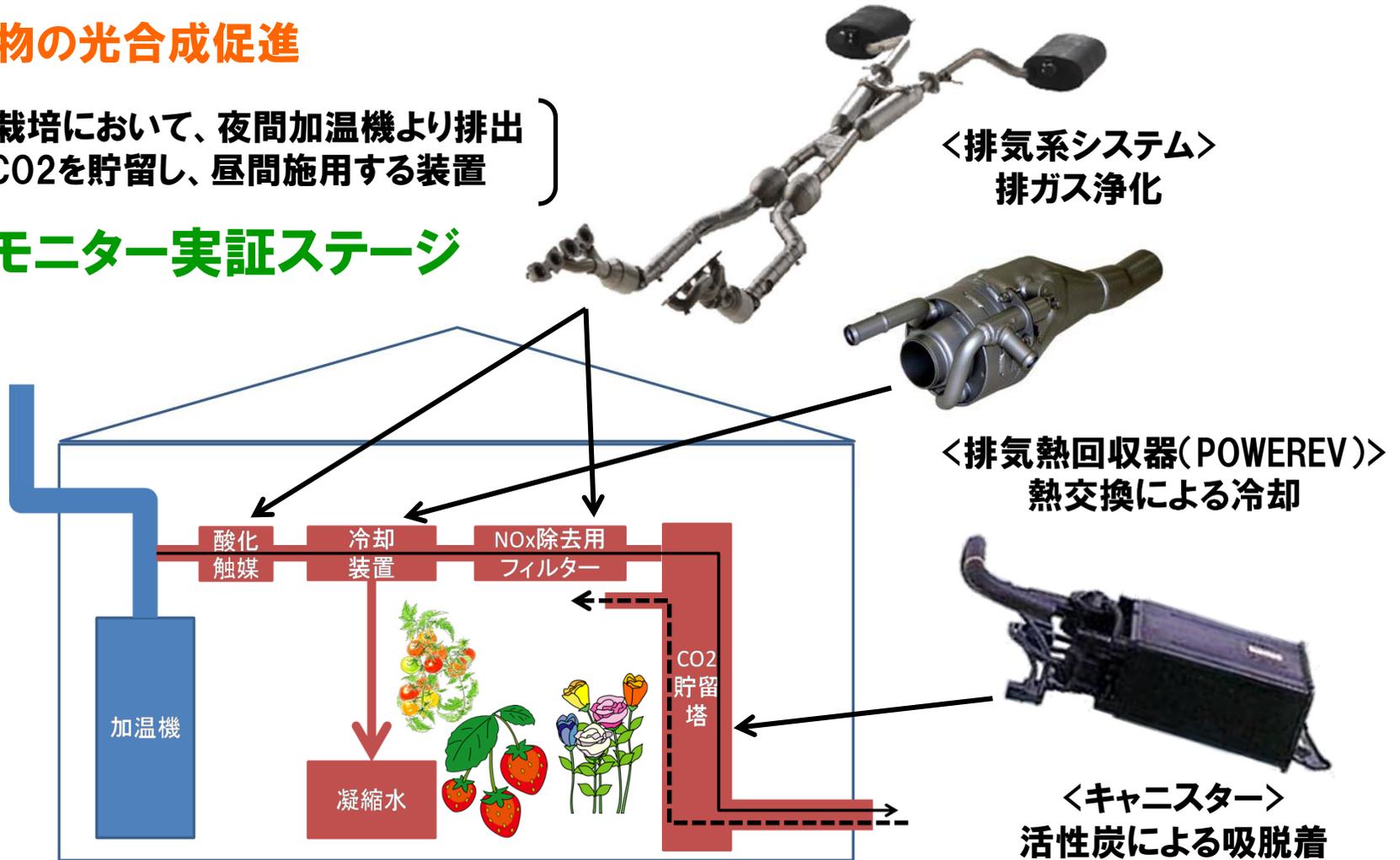


② 農業分野へのコア技術の活用

農作物の光合成促進

〔ハウス栽培において、夜間加温機より排出されるCO2を貯留し、昼間施用する装置〕

現在モニター実証ステージ



＜ガスの流れ＞
貯留時 →
施用時 ←



III. 新5ヵ年計画

III-6 方針のまとめ

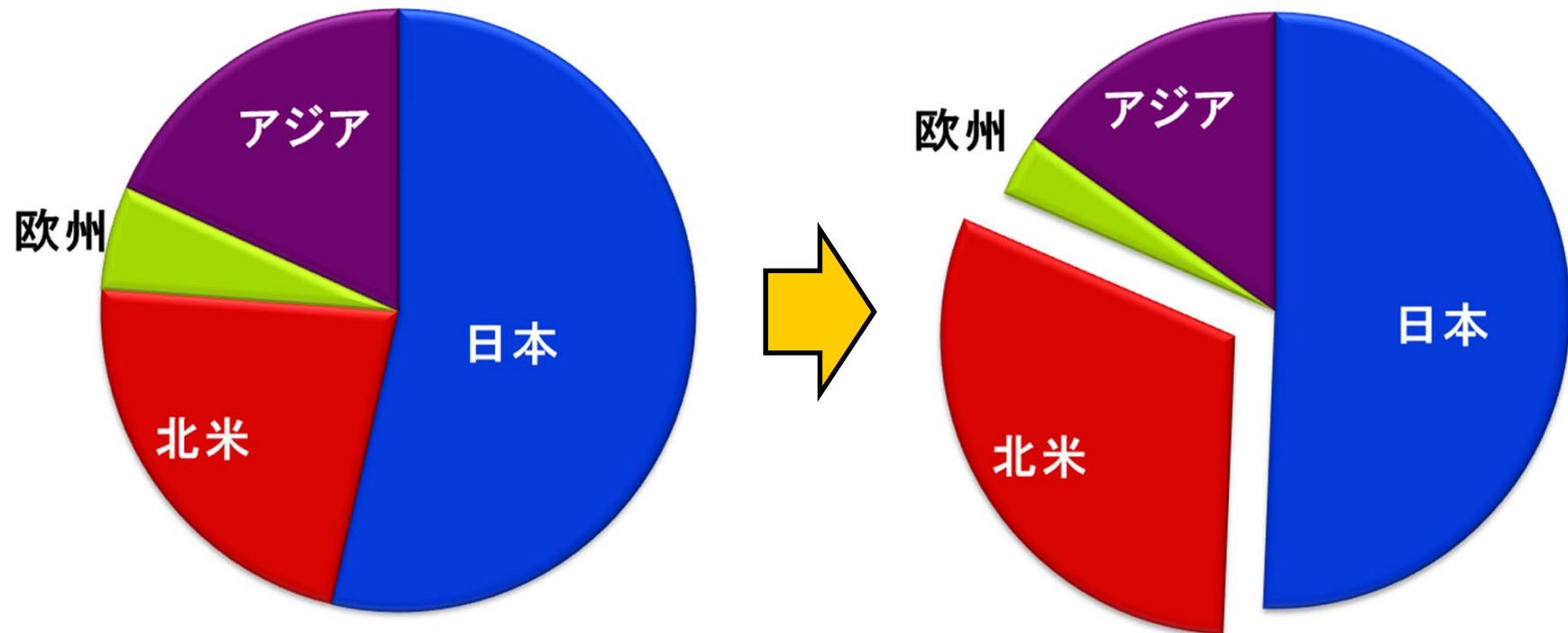
方針	重点取組み
主力商品の競争力の向上	<ul style="list-style-type: none">➤ 排気系部品：システム開発力の強化➤ ボデー系部品：SE力・ものづくり力の向上➤ 革新ラインのグローバル展開
排気系部品のグローバル展開	<ul style="list-style-type: none">➤ 燃費、排ガス、騒音規制に対応し、北米・中国での排気系部品受注拡大
ボデー系部品の安全、軽量化対応	<ul style="list-style-type: none">➤ 超ハイテンプレス、ホットスタンプ、アルミの生産技術の確立
生産拠点最適化	<ul style="list-style-type: none">➤ 客先動向を意識した生産拠点見直し➤ 効率的なリソースの配分➤ 統括会社の機能強化
マネジメント改革	<ul style="list-style-type: none">➤ 排気系、ボデー系別に開発～生産までの組織見直しによる効率化
新技術・新事業への取組み強化	<ul style="list-style-type: none">➤ ホットスタンプのグローバル展開➤ 超ハイテンプレス加工技術の手の内化➤ 農作物光合成促進装置の事業化

III. 新5ヵ年計画

III-7 目指す姿(2020年)

①地域別売上比率

北米の売上比率拡大

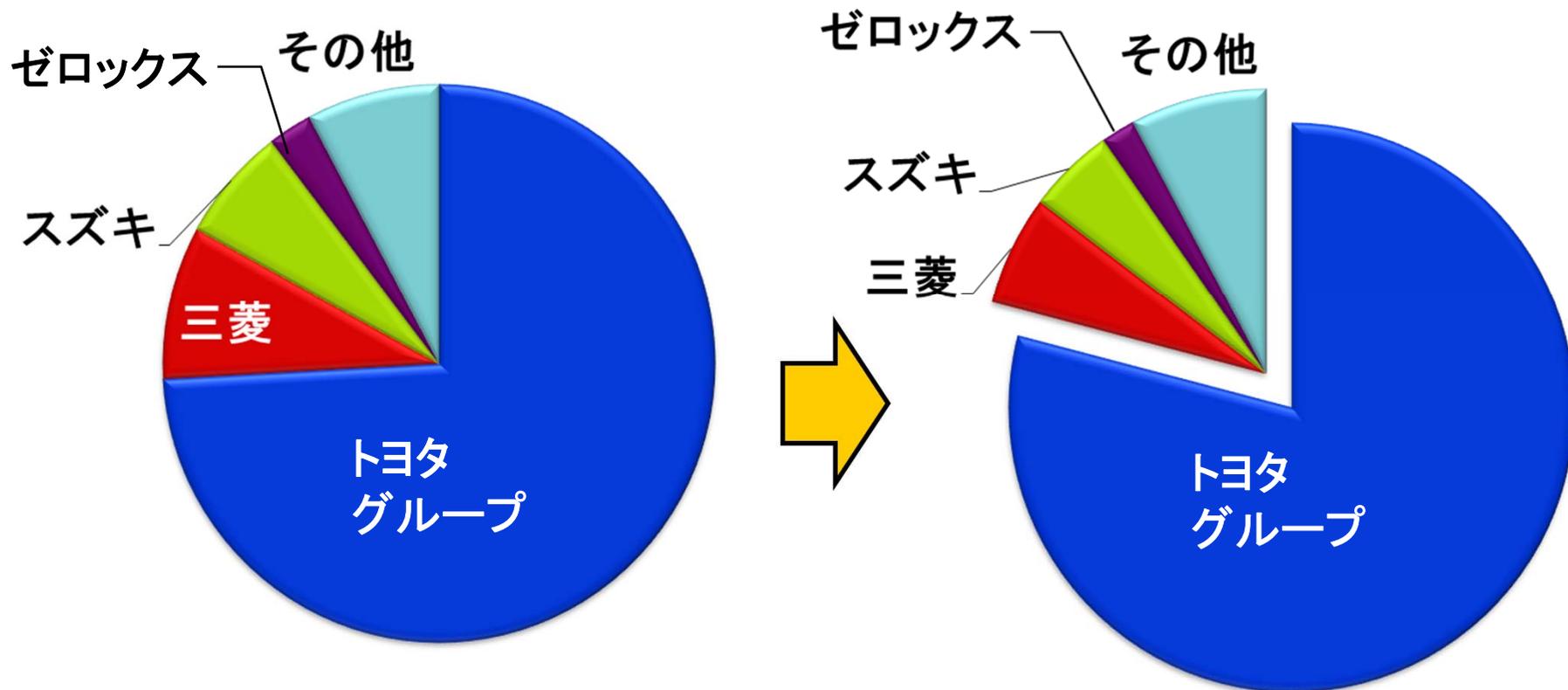




III. 新5ヵ年計画

②客先別売上比率

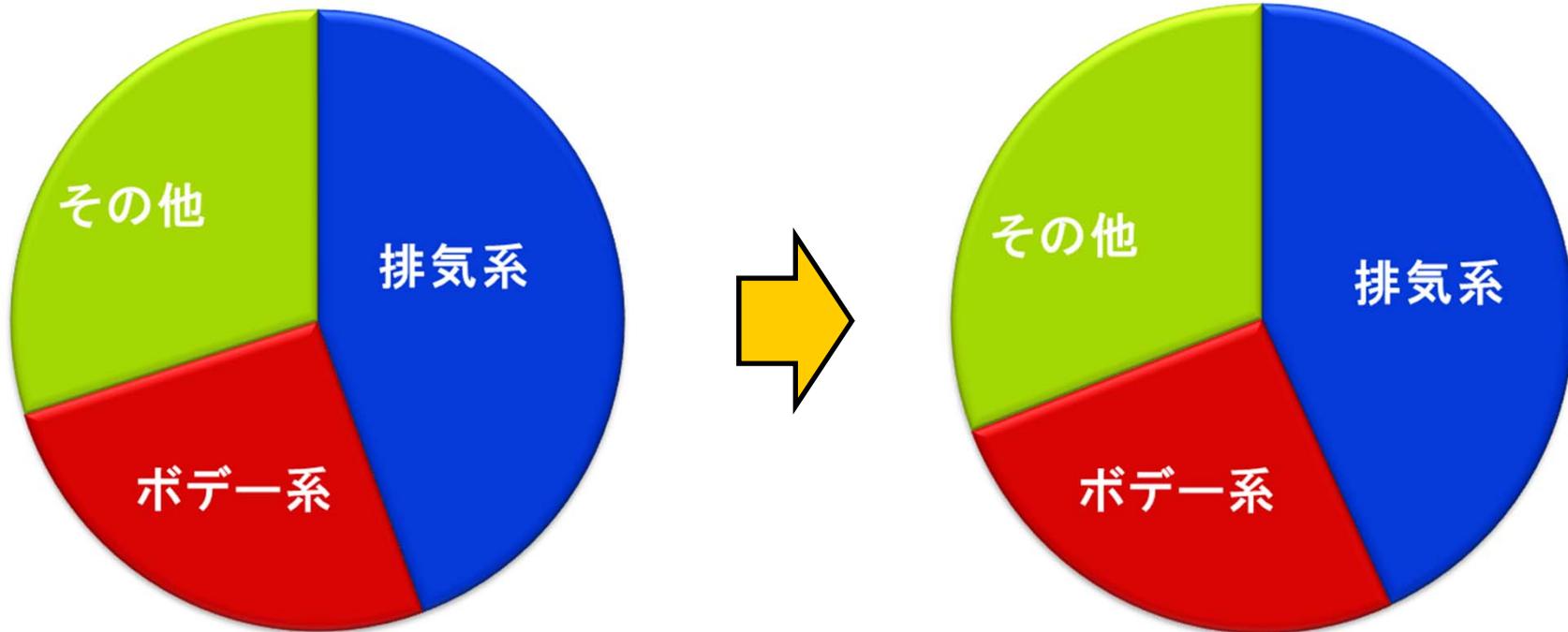
トヨタグループの売上比率拡大



III. 新5ヵ年計画

③商品別売上比率(日本)

現状維持

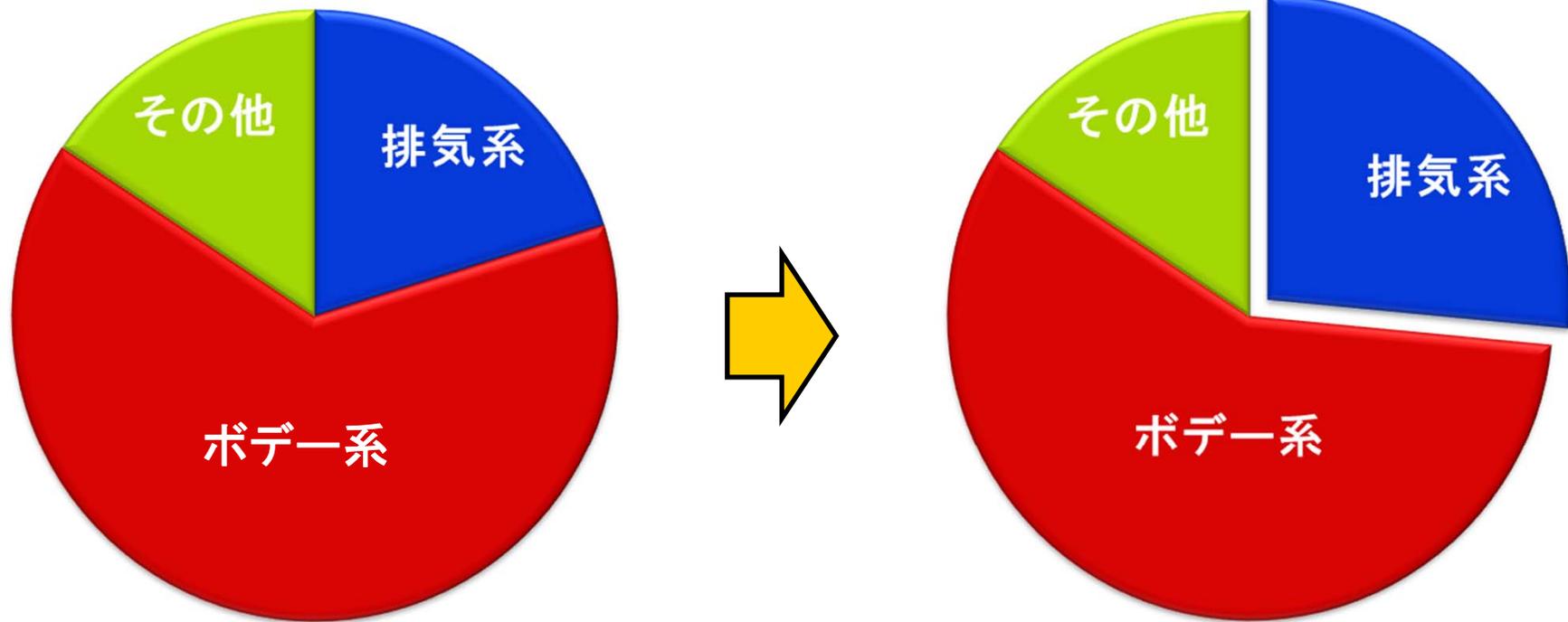




Ⅲ. 新5ヵ年計画

④商品別売上比率(北米)

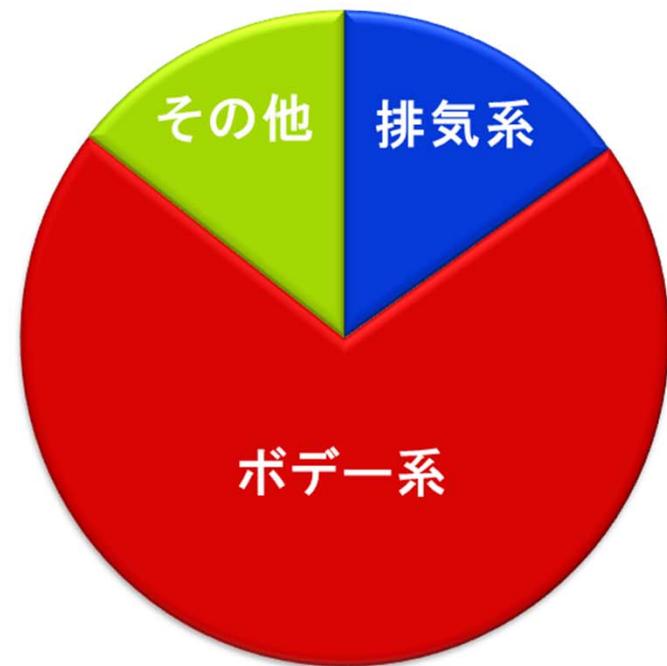
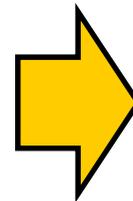
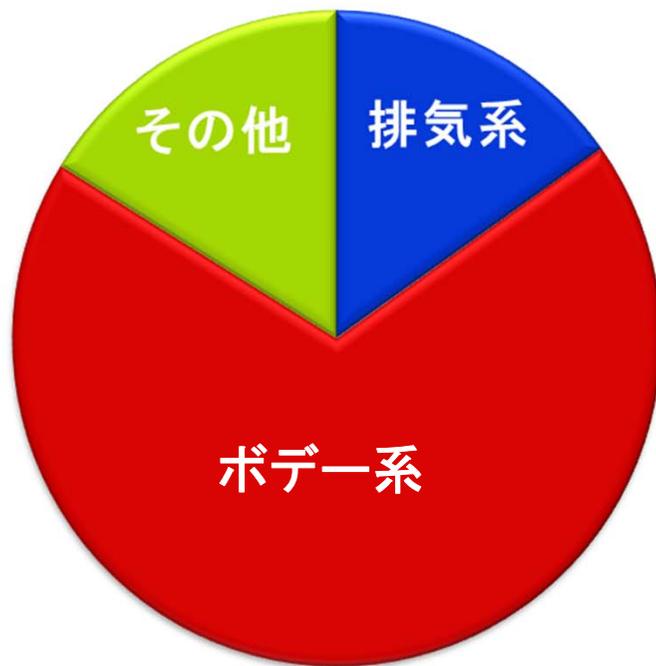
排気系の売上比率拡大





⑤商品別売上比率(欧州)

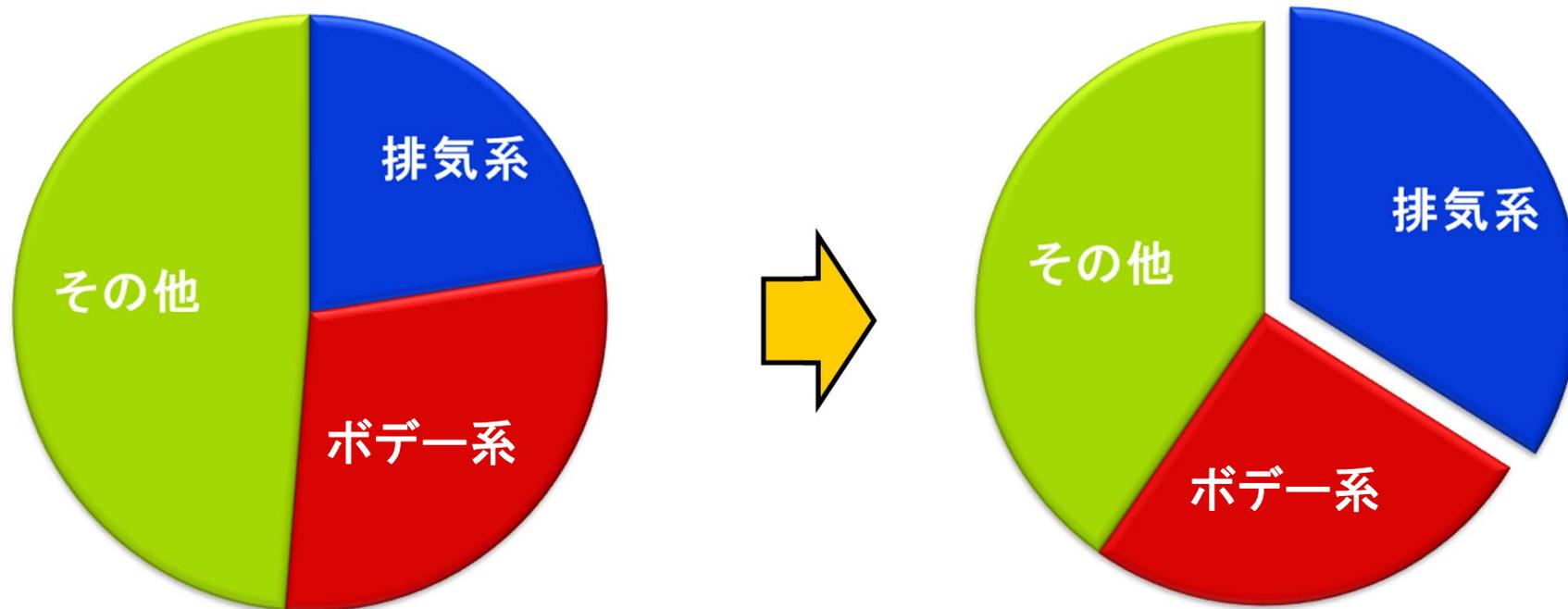
現状維持





⑥商品別売上比率(アジア)

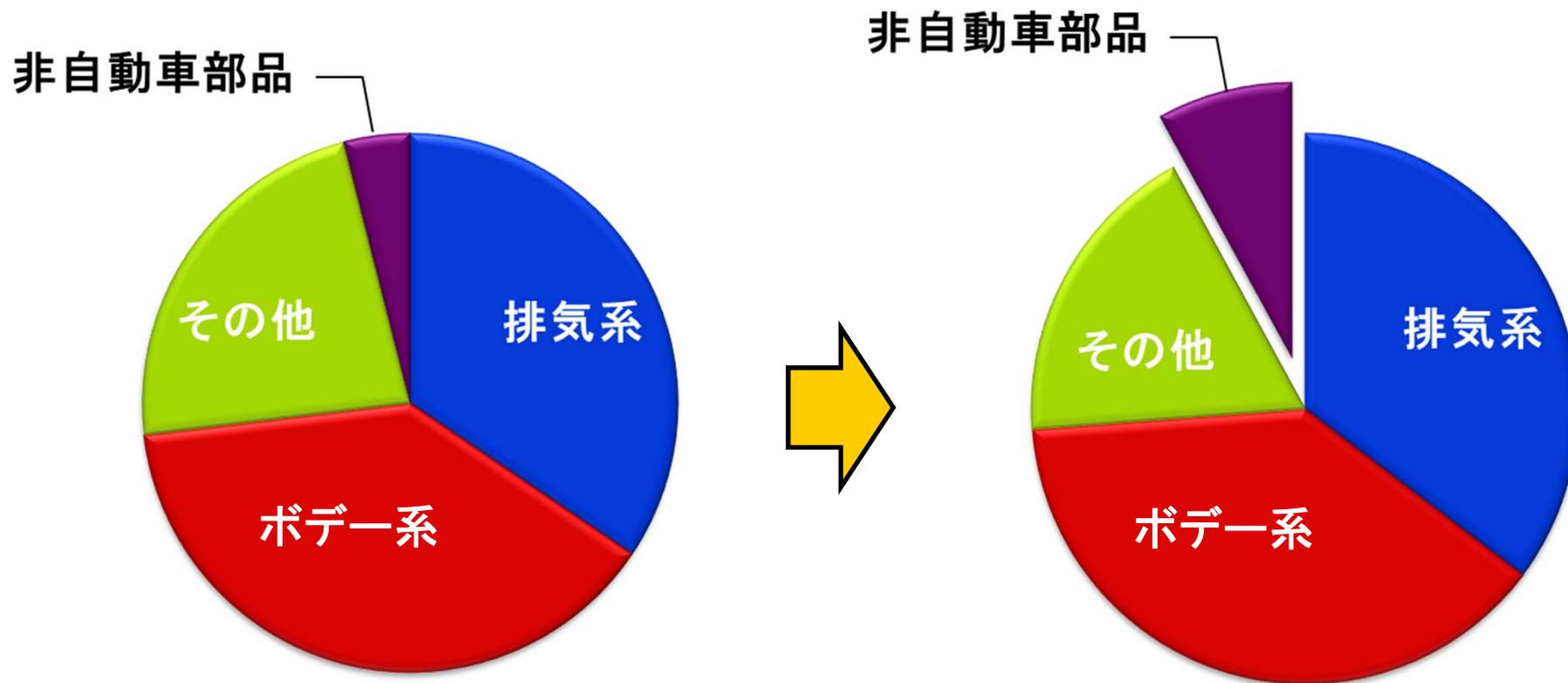
排気系の売上比率拡大





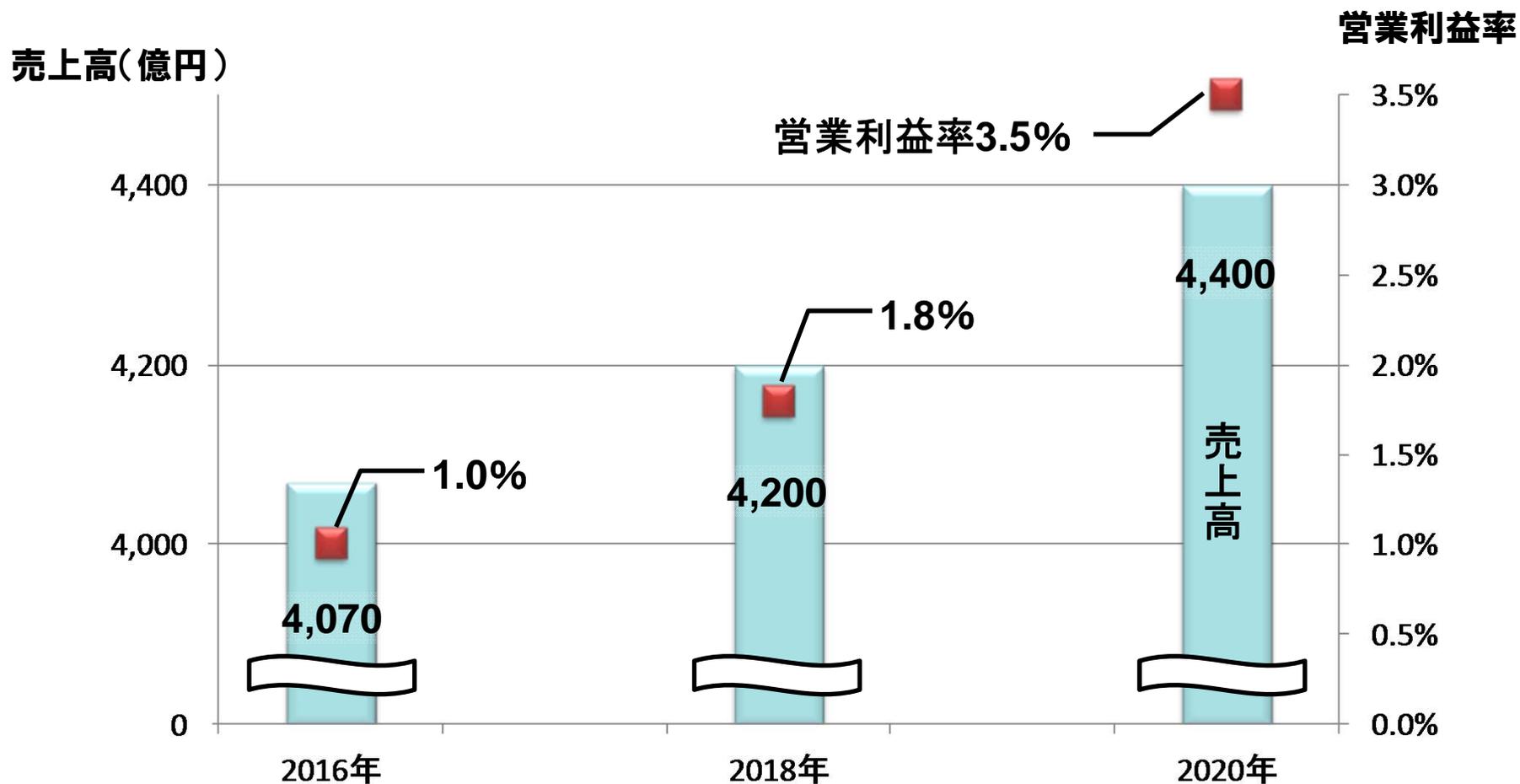
⑦商品別売上比率(グローバル)

非自動車部品の売上比率拡大





⑧売上高・営業利益率見通し(連結)





**「よい品、より安く」
とり戻そう、フタバの力
きり拓こう、フタバの未来**

新5ヵ年計画達成に向けた2016年度の会社スローガン



本資料に記載されているフタバ産業(株)の計画、業績等のうち、歴史的
事実でないものは、将来の見通しであり、リスクや不確定な要因を含ん
でおります。それらの影響により実際の業績は、見通しと異なる結果とな
り得ることをご承知おきください。